


利根川快斗さん(小3) ツバメのねぐら入り観察報告

①

ツバメのねぐら入りかんさつ
三年二組 利根川 快斗

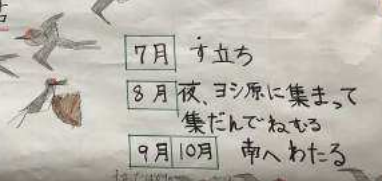
- かんさつするきっかけ
ぼくは野鳥が好きでよく野鳥のかんさつをしたり、図鑑で調べたりしています。この夏休みは、夏にしか見ることのできないツバメのねぐら入りをかんさつすることにしました。
- かんさつにひつような物
そうかんきょうカメラ筆記用紙・ポケットサイズの野鳥図鑑
- かんさつ場所
1 うどのヨシ原(大阪府高槻市)
2 赤坂下池(大阪府上野市)



②

- ツバメの生たい
・大きさ: 19cm
・色(いろ): 体の上のほうは黒でおなかが白。のどが赤い。
・鳴き声: ツビッ、ツビッ
・いるい: ツバメ、イソツバメ、コシアカツバメ、シロウトツバメ、リュウキュウツバメ。
・習性: 春から夏にかけて、インドシヤ半島やマレー半島、オーストラリア北ぶから日本にやってくる ねぐら(夏鳥)。
- 日本にいる間のツバメの生活

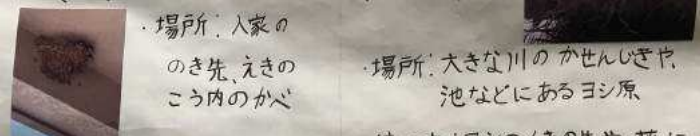
4月	ツバメがあたて来る	7月	す立ち
5月	す作りをする(3日~10日かかる)	8月	夜、ヨシ原に集まって集んでねむる
6月	たまごを生む(2回) たまごがかえり、ひなのせわをする	9月10月	南へわたる



③

- すどねぐらのろがい


[す]	[ねぐら]
<ul style="list-style-type: none"> 場所: 人家ののき先、えきのこう内のかべ 作られ方: 主に、どろやふんでかためる もくてき: たまごをうみ、ひなをそだて、す立ちをさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 場所: 大きな川のかせんじきや池などにあるヨシ原 使い方: ヨシのくきの先や、葉にとまるだけ(作らない) もくてき: 天でさからみをまもるためや、えさがたくさんとれる場所のじょうほうをかん



④

- うどののヨシ原でのかんさつ


日時: 8月3日(土) 18:30~19:30
場所のちくちう: 大阪で一番大きなねぐら
広さは東京ドーム16こ分(75~79ール)
ツバメの動き:
・30000羽~40000羽が集まる
・日がしずむ前後の30分間に、ねぐらにむかてとんでくる(時そく60kmいほう)
・あまりせん回しないで、上空の高いところからサッと下りる



⑤

- 赤坂下池でのかんさつ

日時: 8月7日(水) 18:40~19:30
場所のちくちう: 全国でもめずらしく、じょうたく地にある(じょうたく地の池をまもっていくのはたいんだから、池がとりこわされるかもしれない)
ツバメの動き:
・20000羽が集まる
・何回もせん回して下りていった
・ねぐらがせまいので、ツバメが集まってくる時のとんでる高さがひくくて、とても近くで見ることができた



⑥

- かんさつして学んだこと

- ・ツバメは、水面スレスレにとひながら水をのんでねぐら入りする。ヨシの葉がますぐ上にのびているものにはツバメはとまれませんが、はばが広くて横にたれ下がっているものにはとまれる
- ・ツバメのおもさは10円玉4まい分しかない
- ・ツバメは長いさよりをとぶのでつばさはじょうぶだが足の力はあまりない

- かんさつしてのかんそう
ツバメがねぐら入りするということは、あつていたけれど見に行つたのははじめてだ。そうぞういしょうにたくさんのツバメがいてとてもびっくりした。空いちめんがツバメだらけで、あんな空ははじめて見た。すごく近くで、すごくはやいスピードでビュンビュンとんでるツバメを見て、すごいなあと思った。

⑦

今回のかんさつ会を計画してくれた日本野鳥の会・大阪し部のリーダーの人が、ぼくのしつ間にやさしくていねいに答えてくれてうれしかった。来年もかんさつをつづけたい。

- さんこうにしたもの

- ・日本野鳥の会「ツバメのねぐらマップ」
- ・日本野鳥の会「フィールドガイド・日本の野鳥」
- ・日本野鳥の会・大阪し部の当日のしりょう
- ・日本野鳥の会・大阪し部リーダーからのお話